

平野大臣からのメッセージ

先日、福島県相馬市の和田観光いちご園の開園式にお招きをいただき、出席しました。このいちご園は、東日本大震災における津波で大きな被害を受けました。開園に至るまでには、約130人のボランティアの皆様からの大きな支援もあったそうです。約10ヶ月の月日を経て、13戸あった農家のうち、まずは7戸で改めて開園の運びとなりましたが、その際、和田観光苺組合長の山中様から、「ボランティアの皆様に対し、大臣からも感謝の意を伝えて欲しい」とのお話を頂戴しました。

このいちご園に限らず、さまざまな場面・場所で東日本大震災からの復旧・復興に向けてボランティアの皆様にご活躍いただいています。岩手県・宮城県・福島県の災害ボランティアセンターに登録して活動なさったボランティアの延べ数はこれまで約90万人、このほかにNPOや民間団体で独自に活動する方々も多数いらっしゃるなど、大変多くの方々にご活躍いただいております。

ボランティア活動は被災された方々への支援や被災地の復興支援に大きな役割を果たしており、私からもボランティア活動に携わる皆様に深く感謝の気持ちを申し上げます。

今後とも、被災された方々に寄り添いながら、大震災からの復興に向けて全力を尽くしていきたいと思っております。

平成24年1月18日
東日本大震災復興対策担当大臣
平野 達男